

10月になりました。

とはいえ、日中の真夏日予報や度重なる台風情報に清々しい秋の始まりを全く感じる事ができない日々です。

そんなブルーな気分を追い打ちをかけるようにテレビでは環境基準が・？

建築基準が・？お豆腐数えで一兆二兆とか！・・・と

ちょっとウンザリするような話題ばかりです。そしてどの話題でも必ず最後は

「一体だれに責任があるのでしょうか？」と

疑問を残してコマーシャルです

大事な事だと見ているのですがさすがにストレスたまります。



そんなウンザリ気分を持ちつつ、新番組の朝ドラマを見ていたら刺繍が上手になりたい主人公のお嬢様がお抱えの靴職人に

「どうしたらそんな風に針と糸を上手に扱えるようになるのですか？」と

聞くシーンがありました。その時に職人さんは

「良い物をつくろうと思ったら、それを使う人の事を心から思い続けて、丁寧にひたすら一生懸命にやればいいのです。それが一番大切なことです」と真剣に語りかけ、お嬢様の目が輝くシーンがありました。

ウンその通り。これぞプロフェッショナルと言われる所以ですよ

かっこいいなー！こういう人大好き！

一流の職業人とは、単に、秀でた技術や豊かな知識や経験をもっているだけでなく、それをおしみなく発揮し、駆使する事によって

「よりよい物やサービス等を提供するという使命を持ち、真摯に取り組む人」

さらに、受けた仕事においては、不自然な妥協などをせず

その仕事に自信と誇りを持ち、しっかりと責任をもてる人・・・

それが「一流の職業人 プロフェッショナルな証」だと思います。



果たして今、西新宿、豊洲 飯田橋あたりには携わる仕事によって

収入を得る資格がある「職業人」が存在するのでしょうか？と・・・

朝ドラ後にまたブルーになっちゃいました。

でもでも・・・久我山にはれっきとした「職業人・職人」がいます。

和菓子をつくって50年。お客様の事を想い、

精進を重ねた職人技を携えて皆様の前に現れます。

この所トンと姿を見ない職人の技を

「美味しい和菓子と共にご賞味あれ！」

10月21日の広報すぎなみにご注目です！

久我山館11月12日「和菓子体験講座」にどーぞ！

ブルーな気分がすっ飛んで、ご満足していただけたと思います。

楽しい事考え始めたら、ちょっと気分がよくなった10月のはじまりです

